

【実践編】関係代名詞・特別オンラインセミナー(who/which)

今日のポイント

- ① 関係代名詞を使う箇所を瞬時に見抜けるようになる。
- ② 関係代名詞が確実に作れる 3 ステップをマスターする。
- ③ 練習問題で、確実に定着させる。

① 関係代名詞を使う箇所を瞬時に見抜けるようになる

■まずは、日本語で確認してみましょう。

- ・昨日もらったマンゴー、すごく美味しかった。
- ・彼女は、私が先週、紹介した男性に興味を持っています。
- ・私は、来年、先生になる予定の生徒を知っています。

ポイント

関係代名詞を攻略するポイントは、文の中で、どの部分に関係代名詞が入っているかを瞬時に見抜くことです。

見抜くポイント

関係代名詞を使う箇所には必ず以下の特徴があります。

1. 「〇〇〇〇な『名詞』」となっている所が、関係代名詞を使う箇所です。
2. 〇〇〇〇の中には、必ず「動詞のようなニュアンスの単語」が含まれています。

■昨日もらったマンゴー、すごく美味しかった。

⇒「昨日もらったマンゴー」が、関係代名詞を使う箇所

1. 「〇〇〇〇な『名詞』」⇒「昨日もらった『マンゴー』」
2. 「動詞のようなニュアンスの単語」⇒「もらった」

■彼女は、私がパーティで出会った男性に興味があります。

⇒「私がパーティで出会った男性」が、関係代名詞を使う箇所

1. 「〇〇〇〇な『名詞』」⇒「私がパーティで出会った『男性』」
2. 「動詞のようなニュアンスの単語」⇒「出会った」

■私は、来年、先生になる予定の生徒を知っています。

⇒「来年、先生になる予定の生徒」が、関係代名詞を使う箇所

1. 「〇〇〇〇な『名詞』」⇒「来年、先生になる予定の『生徒』」
2. 「動詞のようなニュアンスの単語」⇒「なる」

② 関係代名詞が確実に作れる 3 ステップをマスターする

■関係代名詞を使う文を、自分で作れるよう 3 ステップをマスターしましょう。

STEP1 : 関係代名詞を使う箇所を見抜く

STEP2 : 関係代名詞が修飾している名詞だけを抜き取り、それ以外の残りの文（結論）を完成させる

STEP3 : STEP1 で見抜いた関係代名詞で修飾したい名詞に、「が（主格）」 or 「を（目的格）」をつけてみて、どちらが適当か判断。

- ・「が」の場合は、「名詞 who/which + 動詞」の形で、関係代名詞を挿入する。
- ・「を」の場合は、「名詞 who/which + 主語 + 動詞」の形で、関係代名詞を挿入する。

例) 昨日もらったマンゴー、すごく美味しかった。

STEP1 : 関係代名詞を使う箇所を見抜く

⇒ 「昨日もらった『マンゴー』」

STEP2 : 関係代名詞が修飾している名詞だけを抜き取り、それ以外の残りの文（結論）を完成させる

⇒ 昨日もらったマンゴー、すごく美味しかった。

⇒ The mango was delicious.

STEP3 : STEP1 で見抜いた関係代名詞で修飾したい名詞に、「が（主格）」 or 「を（目的格）」をつけてみて、どちらが適当か判断。

- ・「が」の場合は、「名詞 who/which + 動詞」の形で、関係代名詞を挿入する。
- ・「を」の場合は、「名詞 who/which + 主語 + 動詞」の形で、関係代名詞を挿入する。

⇒STEP1 : 「昨日もらった『マンゴー』」

⇒ 「マンゴー『が』昨日もらった」 or 「マンゴー『を』昨日もらった」

⇒ 「マンゴー『を』昨日もらった」が適当。

⇒ 「名詞 who/which + 主語 + 動詞」の形で、関係代名詞を挿入する。

⇒ The mango “which I got yesterday” was delicious.

完成文

The mango which I got yesterday was delicious.

例) 彼女は、私が先週、紹介した男性に興味を持っています。

STEP1 : 関係代名詞を使う箇所を見抜く

⇒ 「私が先週、紹介した『男性』」

STEP2 : 関係代名詞が修飾している名詞だけを抜き取り、それ以外の残りの文（結論）を完成させる

⇒ 彼女は、私が先週、~~紹介した男性~~に興味を持っています。

⇒ She is interested in the man.

STEP3 : STEP1 で見抜いた関係代名詞で修飾したい名詞に、「が（主格）」 or 「を（目的格）」をつけてみて、どちらが適当か判断。

・「が」の場合は、「名詞 who/which + 動詞」の形で、関係代名詞を挿入する。

・「を」の場合は、「名詞 who/which + 主語 + 動詞」の形で、関係代名詞を挿入する。

⇒STEP1 : 「私が先週、紹介した『男性』」

⇒ 「男性『が』私が先週、紹介した」 or 「男性『を』私が先週、紹介した」

⇒ 「男性『を』私が先週、紹介した」が適当。

⇒ 「名詞 who/which + 主語 + 動詞」の形で、関係代名詞を挿入する。

⇒ She is interested in the man “who I introduced last week”

完成文 : She is interested in the man who I introduced last week.

例) 私は、来年、先生になる予定の生徒を知っています。

STEP1 : 関係代名詞を使う箇所を見抜く

⇒ 「来年、先生になる予定の『生徒』」

STEP2 : 関係代名詞が修飾している名詞だけを抜き取り、それ以外の残りの文（結論）を完成させる

⇒ 私は、来年、~~先生になる予定の生徒~~を知っています。

⇒ I know a student.

STEP3 : STEP1 で見抜いた関係代名詞で修飾したい名詞に、「が（主格）」 or 「を（目的格）」をつけてみて、どちらが適当か判断。

・「が」の場合は、「名詞 who/which + 動詞」の形で、関係代名詞を挿入する。

・「を」の場合は、「名詞 who/which + 主語 + 動詞」の形で、関係代名詞を挿入する。

⇒STEP1 : 「来年、先生になる予定の『生徒』」

⇒ 「生徒『が』来年、先生になる予定」 or 「生徒『を』来年、先生になる予定」

⇒ 「生徒『が』来年、先生になる予定」が適当。

⇒ 「名詞 who/which + 動詞」の形で、関係代名詞を挿入する。

⇒ I know a student “who will be a teacher next year”.

完成文 : I know a student who will be a teacher next year.

③ 練習問題で、確実に定着させる。

彼は、私が英語を教えた生徒です。

STEP1 : 関係代名詞を使う箇所を見抜く

STEP2 : 関係代名詞が修飾している名詞だけを抜き取り、それ以外の残りの文（結論）を完成させる

STEP3 : STEP1 で見抜いた関係代名詞で修飾したい名詞に、「が（主格）」 or 「を（目的格）」をつけてみて、どちらが適当か判断。

- ・「が」の場合は、「名詞 who/which + 動詞」の形で、関係代名詞を挿入する。
- ・「を」の場合は、「名詞 who/which + 主語 + 動詞」の形で、関係代名詞を挿入する。

完成文

彼女は、東京で人気の音楽をよく知っている。

STEP1 : 関係代名詞を使う箇所を見抜く

STEP2 : 関係代名詞が修飾している名詞だけを抜き取り、それ以外の残りの文（結論）を完成させる

STEP3 : STEP1 で見抜いた関係代名詞で修飾したい名詞に、「が（主格）」 or 「を（目的格）」をつけてみて、どちらが適当か判断。

- ・「が」の場合は、「名詞 who/which + 動詞」の形で、関係代名詞を挿入する。
- ・「を」の場合は、「名詞 who/which + 主語 + 動詞」の形で、関係代名詞を挿入する。

完成文

解答は次ページ

彼は、私が英語を教えた生徒です。

STEP1 : 関係代名詞を使う箇所を見抜く

⇒ 私が英語を教えた『生徒』

STEP2 : 関係代名詞が修飾している名詞だけを抜き取り、それ以外の残りの文（結論）を完成させる

⇒ 彼は、私が英語を教えた生徒です。

⇒ He is a student.

STEP3 : STEP1 で見抜いた関係代名詞で修飾したい名詞に、「が（主格）」 or 「を（目的格）」をつけてみて、どちらが適当か判断。

・「が」の場合は、「名詞 who/which + 動詞」の形で、関係代名詞を挿入する。

・「を」の場合は、「名詞 who/which + 主語 + 動詞」の形で、関係代名詞を挿入する。

⇒ STEP1 : 「私が英語を教えた『生徒』」

⇒ 「生徒『が』私が英語を教えた」 or 「生徒『を』私が英語を教えた」

⇒ 「生徒『を』私が英語を教えた」が適当。

⇒ 「名詞 who/which + 主語 + 動詞」の形で、関係代名詞を挿入する。

⇒ He is a student “who I taught English”

完成文： He is a student who I taught English.

彼女は、東京で人気の音楽をよく知っている。

STEP1 : 関係代名詞を使う箇所を見抜く

⇒ 東京で人気の『音楽』

STEP2 : 関係代名詞が修飾している名詞だけを抜き取り、それ以外の残りの文（結論）を完成させる

⇒ 彼女は、東京で人気の音楽をよく知っている。

⇒ He knows music well.

STEP3 : STEP1 で見抜いた関係代名詞で修飾したい名詞に、「が（主格）」 or 「を（目的格）」をつけてみて、どちらが適当か判断。

・「が」の場合は、「名詞 who/which + 動詞」の形で、関係代名詞を挿入する。

・「を」の場合は、「名詞 who/which + 主語 + 動詞」の形で、関係代名詞を挿入する。

⇒ STEP1 : 「東京で人気の『音楽』」

⇒ 「音楽『が』東京で人気」 or 「音楽『を』東京で人気」

⇒ 「音楽『が』東京で人気」が適当。

⇒ 「名詞 who/which + 動詞」の形で、関係代名詞を挿入する。

⇒ He knows music “which is popular in Tokyo” well.

完成文： He knows music which is popular in Tokyo well.

【実践編シリーズ一覧】

「実践編シリーズ」とは、文法を単なる知識で学ぶだけではなく、「自分でその文法を使えるようにする」ために開催されるセミナー。一般公開されていない「新たな実践的な知識」を提供します。

⇒ <https://hiroenglish.mykajabi.com/2cbe1164-76b0-4b29-b3b0-feb01cd2ebb6>

参考

hiro 式・オンライン英会話スクール受講者専用ページ/STEP2：英会話練習(大原則&テクニック)
では、「テクニック 65」、「テクニック 66」、「テクニック 68」、「テクニック 69」の以下の例題が、今回の関係代名詞に該当する部分になります。ぜひ、復習用としてチャレンジしてみてください。

「テクニック 65」

- ・昨日、英語を教えている男性とあったんだよね。
- ・NYに住んでいる人と会ってみたいな。
- ・彼は、来年、アメリカに留学する予定の鈴木さんです。
- ・この店に日本語話せる人いますか。

「テクニック 66」

- ・この店で一番高い洋服を買います。
- ・将来大きな問題になる課題は、すぐに解決した方がいいよ。
- ・AとBの間にある白い箱、見せてもらえますか？
- ・彼を怒らせるようなことは、するべきじゃないよ。

「テクニック 68」

- ・彼って、先週のパーティで会った鈴木さんかな？
- ・私が英語を教えた生徒は、みんな、将来海外留学しているよ。
- ・彼女は、生徒から慕われている鈴木先生です。
- ・好き嫌いに関わらず、誰にでも親切にしなければならないよ

「テクニック 69」

- ・これ、先月イタリアで買ったワインなんだけど、すごく美味しいよ。
- ・あのシェフが作ったケーキ、今、東京で大人気なんだよ。
- ・彼が壊したメガネの修理、20,000円かかったよ。
- ・彼女が食べているパスタ、私も食べたいな。